

# 春高代表の両校が新チームでも栄冠

＜東京都市大塩尻・松商学園＞苦しみながらも6連覇を達成し、喜ぶ都市大塩尻の選手  
⑤要所でアタックを決めた小山主将



# 都市大塩尻

男女それぞれで準決勝と決勝、3位決定戦が行われた。男子は創造学園がオールストレート勝ちで危なげなく4連覇を達成。女子は東京都市大塩尻が苦しみながらも6連覇を果たした。男女とも上位4校が2月12日から茅野市と岡谷市で行われる北信越大会に出場する。  
(中沢 豊)



▽女子準決勝 東京都市大 252923 塩尻 2 202725	▽男子準決勝 松商学園 1 東海大 3
▽向決勝 東京都市大 2525 塩尻 2017	○松商学園

# V6

た。それでも、この1年間のメンタルトレーニングで徹底的にハートを鍛えてきた選手たちに動揺や焦りはなかった。「どんな状況でも諦めず、落ち着いて全力を出し切ろう」と声を掛け合った」とウイングの小山菜央主将(2年)。ここから3度マッチポイントを握れながらもその度にチャンスに持ち込み、最後は29-27で振り切った。続く第3セットも14-16と中盤までリードを許す苦しい展開となったが、ミドル滝沢明華(2年)のブロックポイントや小山主将、山真央(1年)の両ウイングの強打などで4連続得点を奪って抜き去り、25-20で接戦をものにした。

死闘を制した勢いに乗り、松商との決勝は貫禄のストレート勝ち。岡田隆安監督(66)は「準決勝が大きかった。本当によくない。伝統の力を出せたかな」と喜んだ。次の舞台は北信越大会。「まだチームとして日が浅いので、決めごとができていない。コンヒプレーとネット際を鍛えて、しっかり取り返したい」と指揮官。伝統のコンヒプレーの成熟度を高め、2年ぶりの覇権奪回を狙う。

■この記事・写真等はスポーツニッポン新聞社の許諾を得て転載しています。  
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。  
学校法人 五島育英会